

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年2月7日

東京大学での所属学部・研究科等:	総合文化研究科	学年(プログラム開始時):	修士2
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	スウェーデン王立工科大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

ヨーロッパでも有数の留学生が多い大学で、立ち位置的には日本でいう東工大のような所。基本的に修士以上の授業は全て英語で受けることができる。

留学した動機

海外の大学で学ぶということがどういうものを体験したかったため。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	修士2	年生の	A2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	8月~	2018年	1月	
	修士2	年時に出発			
④留学後の授業履修:	年		年生の		学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	年		年生の		月頃に
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		29	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位		0	単位	
	留学後の取得(予定)単位		33	単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2018年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	3年		ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

修士での研究を終えてから留学したかったため。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

そこまで複雑ではなかったように思います。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

ビザが降りるまで日数がかかるので、留学が決まり次第手続きをすることをおすすめします。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特には。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学で指定されたもの

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

自分は留学のために余分に一年間大学に残りました。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

基本的には英語で全て大丈夫ですが、余裕があればスウェーデン語を勉強しておくともっと面白い生活が送れると思います。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

特にはなかったです。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

自分が取った授業では、オムニバス形式の講義とグループワークでの研究から発表までやるというスタイルでした。スケジュールは日本よりもかなりフレキシブルです。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

授業のための勉強時間を常に意識していたわけではないので分かりません。あと、授業によってかなり違います。

④学習・研究面でのアドバイス

早めにシラバスとかを読んでおくのと良いです。あとはFacebook上に色々コミュニティがあるので、分からないことがあればそこで聞くと良さそうです。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

特にはないです。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

基本的に宿泊先は大学から1時間くらいのところですが、日本と比べて電車とかは空いています。家賃も安いですが、共同生活をすると色々トラブルもあるので、そこは運です。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

クレジットカードがあれば生きていけます。意外と寒くないですが、冬は暗いので、ビタミン剤を飲んだり、ベッドを窓際に寄せるなど工夫しました。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安は良いです。病院も簡単に行けます。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

外で飲み食いしなければ安いですが、旅行をするとその分高くなります。

・留学に要した費用総額とその内訳

自分はヨーロッパの友達を訪ねたりして飛び回っていたのもものすごく使いました。怖くて数えてません。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

大学のもので毎月8万円を支給されていました。もっといいのがあると思いますが、これが一番簡単です。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

自分の趣味などを中心にコミュニティを作るは結構簡単です。留学生が多いので。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

サポートはしてくれますが、日本と違ってシステムというより、人に責任があります。自分はひどい人に当たって最悪でしたが、そのことを同じオフィスの人やボスに言えば大概なんとかしてもらえます。大体レスポンスは遅いです。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

ジムなどはキャンパス内にありますが有料です。食堂などはないですが、普通のレストランなどが入っています。高いです。多くの学生は自分でランチなどを持参しています。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

ないです。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

ないです。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

ないです。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|---|------------------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| ✓ | 5. 民間企業(企業名又は業界:工学分野で研究職につく予定です。) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

基本的に英語ばかりで長い間生活をすることになるので、日本語では入ってこない新しい刺激があります。英語が下手な人達も楽しそうに色々やってるのに混じると、多くの日本人が持っている英語コンプレックスもどこかにいくと思います。

②留学後の予定

就職する予定です。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

色々と運要素が強いので、あまり堅いこと考えずに良いチャンスを逃さないようにするのが良いと思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

特になし。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。